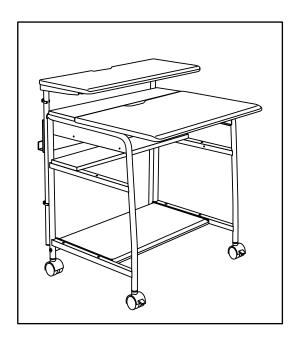
#### **ELECOM**

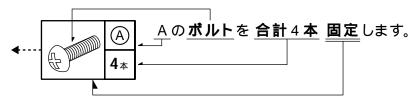
# パソコンラック 取扱い及び組立説明書

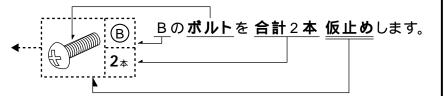
MLD-75HW MLD-75HSV

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本製品を組み立てる前に、必ず「組立使用上の注意」をご覧いただき、正しく組立、ご使用されますようお願い致します。



#### 組立図使用マーク一覧







付属工具を使っての 組立があります。



2人以上で作業を 行ってください。



左右共通の部材を 使用します。



右用と左用とで部材の形 状が異なります。組立て の際に取付け間違いのな いようご注意下さい。

#### ■ 組立・使用上の注意|

- 〈!〉注意マーク……この表示の欄は「軽傷を負う又は、物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。取扱いには十分ご注意下さい。
- 【!!》警告マーク......この表示の欄は「死亡又は、重傷などを負う可能性が想定される」内容です。 取扱いには十分ご注意下さい。
- √ 必ず軍手や手袋などで手を保護してから組立を行って下さい。
- 組立の際は手や指を挟まないように注意し、ストープやコンロなど火気のある場所での組立は絶対に避けて下さい。
- ! 組立手順に従って指定された位置のボルトは確実に止め、組み立てて下さい。 ネジが緩いと危険です。
- √ 組立時は床などを傷つけないよう十分ご注意下さい。
- ♥ テーブルや棚の上に立つと危険です。 絶対に上に乗らないで下さい。

- √ 必ず屋内で使用し、水のかかる場所や直射日光のあたる場所での使用は避けて下さい。
- √ 使用中に組み付けたボルトが緩んできた場合は再度、組立手順に もとづき、増締めを行って下さい。(その際、天板・棚板等に載せている すべての機器を取り外して行って下さい。)
- ① ベンジン・酸・熱湯・シンナー・ミガキ粉・石油などでのお手入れは 避けて下さい。必ず堅く絞ったぞうきんなどで、拭くなどして下さい。
- 3ンセント付きのものは容量を超えて使用しないで下さい。感電や 火災の原因となります。

商品に関する エレコム総合インフォメーションセンター お問い合わせは **TEL.03-5337-3024** 

受付時間 00~12:00

00 年中無休

エレコムFAXテクニカルサポート 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00、FAX.03-5500-2881 月曜日~金曜日(祝・祭日を除く)

## 部品一覧表

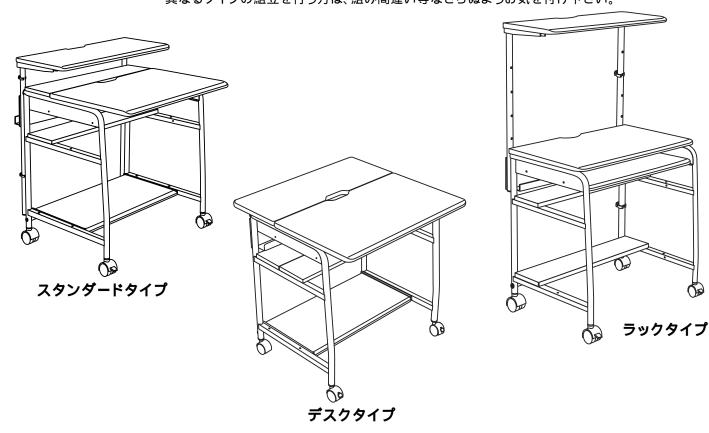
組立を行う前に、以下の部材がすべて揃っているかご確認下さい。

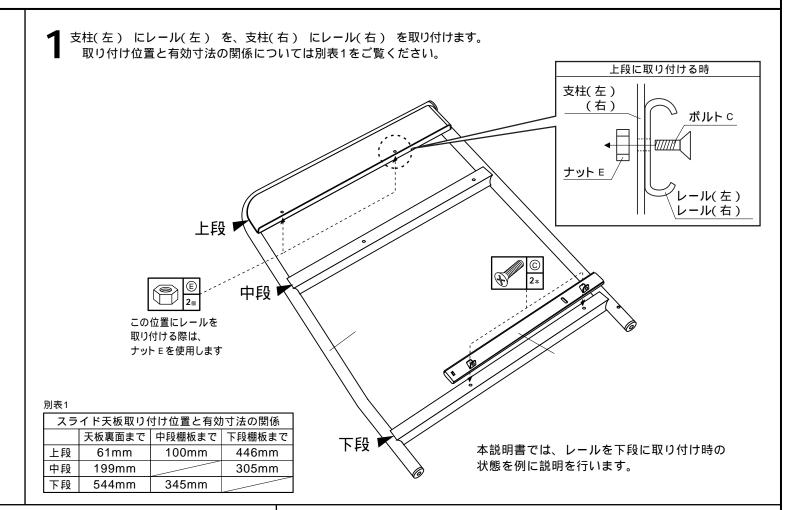
品番	部材外観		品名 数量	品番	部材外観	品 名 数 量
			天 板 1 枚			レール(左) <b>1</b> 本
		$\geqslant$	スライドパネル <b>1枚</b>			レール(右) <b>1</b> 本
			オーバートップ パネル <b>1</b> 枚			ケーブル ホルダー 2個
		<b>&gt;&gt;</b>	支柱(左) 1本			棚受けピン <b>4</b> 個
			支柱(右) 1本	А		ボルト (M6×12) <b>4本</b>
			オーバートップ フレーム 2本	В		ボルト (M6×35) <b>10</b> 本
			棚板 2枚	С		ボルト (M4×12) <b>4</b> 本
		0	バックパネル  <b>1</b> 枚	D		木ネジ 4本
			バックフレーム <b>1</b> 本	ш	上段にスライドパネルを取り付ける時のみ使用します	ナット (M4) <b>4</b> 個
			キャスター (ストッパー有) <b>2個</b>	付属工具		スパナ 1 本
			キャスター (ストッパー無) <b>2</b> 個	付属工具		六角レンチ <b>1 本</b>

ドライバー

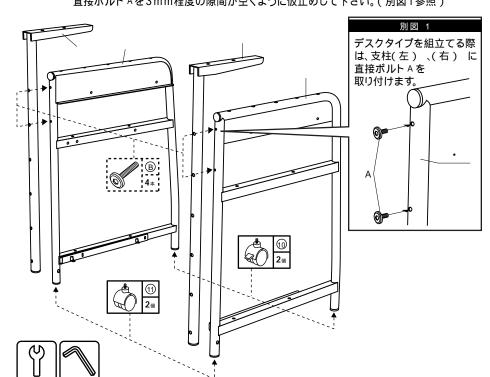
### タイプ一覧

組立前に、お客様のご希望する形態はどのタイプに属するか、よく確認して下さい。本説明書では、「スタンダードタイプ」を図解として用いて説明を進めていきますので、異なるタイプの組立を行う方は、組み間違い等なさらぬようお気を付け下さい。

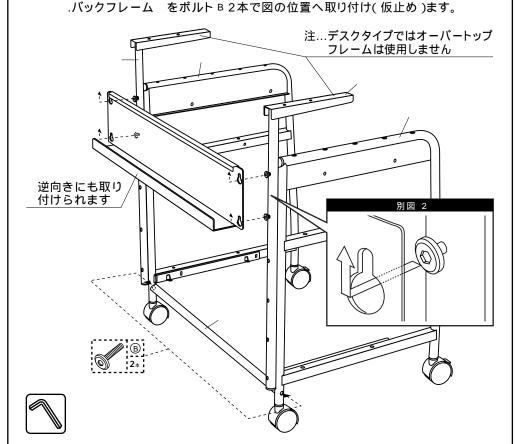




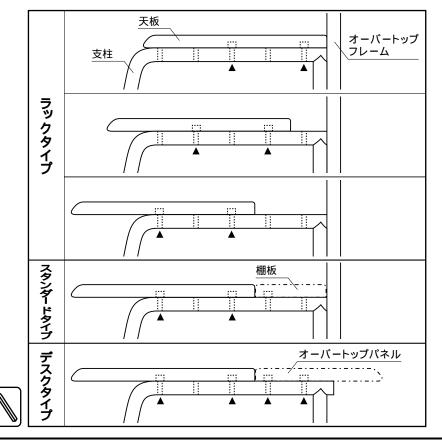
2 .支柱(左)、(右) の図の位置に、キャスター(ストッパー有)、 キャスター(ストッパー無) を付属工具のスパナで取り付けます。 .支柱にオーバートップフレーム をボルトBで、お好みの高さに取り付け(仮止め)ます。 注…ボルトの頭とオーバートップフレーム の間に3mm程度の隙間が空くように仮止めして下さい。 注…デスクタイプの組立にオーバートップフレーム は使用しません。支柱(左)、(右)に 直接ボルトAを3mm程度の隙間が空くように仮止めして下さい。(別図1参照)



3 .バックパネル を支柱(左)、(右) に取り付けたボルトへ引っ掛け、軽く仮締めします。(別図2参照)



4 天板 を支柱(左)、(右) にボルト B で取り付け(仮止め)ます。 組立中のタイプに合わせて、下記一覧表 印の位置を仮止めして下さい。



ドライバー

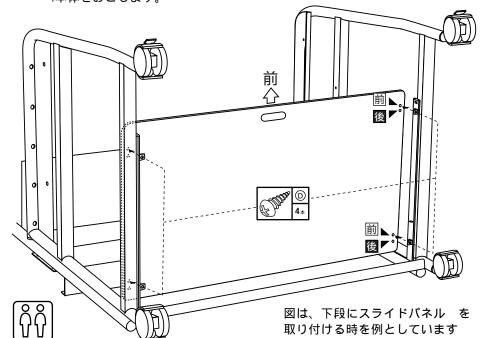
5 この行程は「デスクタイプ」の組立には有りません。行程6に進んで下さい。 オーバートップパネル を、オーバートップフレーム にボルト A で 取り付け(仮止め)ます。



6 注…この行程で「下段(行程1参照)」にスライドパネル を取り付ける場合、本体 を傾けた状態にしたければないません スペップロン を傾けた状態にしなければなりません。その際には、必ず2人以上で床・壁や ラック本体を傷付けないよう、防護用のシートを敷くなどして行って下さい。 .中段・下段への取り付け...スライドパネル 裏面、前の穴へ木ネジ D を使い 取り付けます。

上段への取り付け...スライドパネル 裏面、後の穴へ木ネジロを使い取り 付けます。

.本体をおこします。



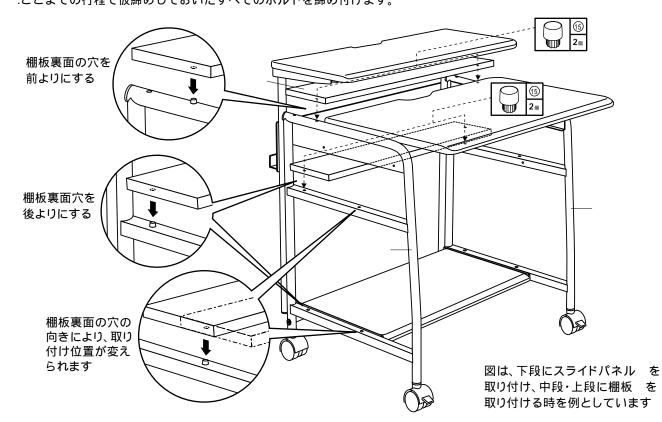
取り付け(仮止め)ます。

この行程は「デスクタイプ」のみが対象です。

オーバートップパネル を、支柱(左)、(右) にボルトBで

.棚板 を取り付けたい場所の支柱(左) 、(右) に棚受けピン を、棚板1枚につき2個取り付けます。 注…しっかりと奥まで差し込んで下さい。

.棚板 裏面両サイドの穴に、棚受けピン がはまるように棚板を設置します。(吹き出し参照) .ここまでの行程で仮締めしておいたすべてのボルトを締め付けます。



.ケーブルホルダー を丸パイプのお好みの場所へ取り付けます。 .以上で組立完了です。

